

こんにちは 森林官です!

空知森林管理署 北空知支署
幌加内森林事務所
首席森林官 北野 公一



左が筆者

〈三つの日本〉

幌加内森林事務所は朱鞠内・幌加内・鷹泊担当区合わせて41, 201 haを管理していて、管内を北から南まで車で移動すると3時間という、縦に長い担当区となっています。

当事務所の大部分を占める幌加内町には三つの日本一があります。

一つ目は日本最大の人造湖である朱鞠内湖です。周囲40 km、満水時の面積は約2, 300 ha（札幌ドーム418個分）を誇ります。結氷するこれからの時期は、湖上でワカサギ釣りを楽しむ観光客が多く訪れます。



そばファンで賑わう「そば祭り」

二つ目は氷点下41.2℃という日本最寒記録で

1978年に母子里（もしり）地区で観測されました。

三つめはそば畑の面積です。作付面積は3, 200 ha、生産量は2, 900 tと、国内生産量の1割に上ります。毎年8月末には4万人以上のそばファンが訪れる「そば祭り」が開催されますので、「美味しいそばを食べたい!」という方は、是非、お立ち寄りください。

〈森林事務所の仕事〉

森林官の業務には様々なものがあります。地況林況等調査と呼ばれる森林資源量の調査や、野ネズミによる被害を防ぐための野鼠調査、育林や間伐などの請負事業が適切に実行されるように監督・検査業務など日々、山を駆け回っています。

最近では10月1日からエゾシカの狩猟期間がはじまりましたが、狩猟者や一般入林者への注意喚起を行うための「のぼり」や看板を主要な林道・作業道に設置しました。

また、普段から林道や作業道が大雨や雪解け水で壊

れていないか、通行に支障ある枝や木が落ちていないかなどの点検を行い、時には笹や雑草を刈り払い維持・管理作業に努めるなど、森林の管理に係る幅広い業務を行っています。

〈未来を担う子どもたちへ〉

北空知支署では、幌加内小学校・朱鞠内小学校と子ども達の体験学習や学習活動を行うフィールドを提供する「遊々の森」協定をそれぞれ結んでおり、年5回ほど森林教室を行っています。



森林教室

森林教室では、現場で実際に使う道具の紹介や体験学校の裏山を散策しながら森林の役割や大切さを学んでもらうなど、多岐にわたっています。どの回も、森

林教室に参加する時の子どもたちの目は輝いていますし、いろいろなことを質問してくれる子供たちと交流しながら、取り組ませていただいています。

〈最後に〉

かつては当事務所管内の山々にも雄大な天然林が広がっていたそうですが、本州からの入植とともにアカエゾマツやミズナラ、マカバをはじめとする立派な木々が伐り出され、地域の振興に大いに寄与してきたと聞いています。

しかし、元々の「ポドソル」という生産性の低い土壌に加え、寒冷な気候が成長や有機物の分解を妨げるため、今でも草（アシ）や笹に覆われたまま成林していない箇所があり、課題となっています。

一方的に資源を利用するのではなく、人間の側が「山の声」を聞きながら手入れをし、資源を大切に利用させてもらう、そういった謙虚な気持ちで向き合わなければならぬと言ったことを、幌加内の山々は教えてくれます。